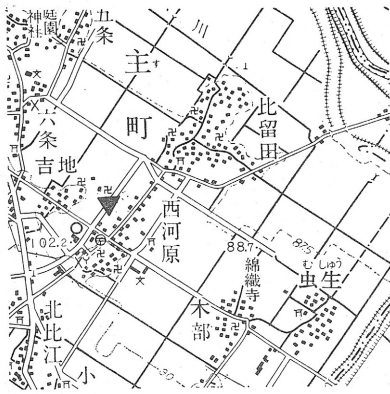


滋賀・西河原森ノ内遺跡  
にしがわらもりのうち

- 1 所在地 滋賀県野洲郡中主町大字西河原
- 2 調査期間 一九九一年(平3)九月〜一〇月
- 3 発掘機関 中主町教育委員会
- 4 調査担当者 辻 広志
- 5 遺跡の種類 集落跡・官衙跡
- 6 遺跡の年代 弥生時代前期〜江戸時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



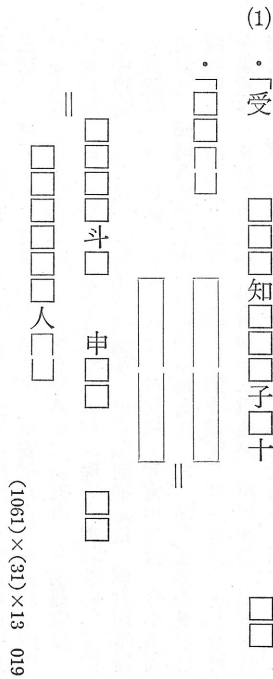
西河原森ノ内遺跡は、野洲川右岸下流域の沖積地(自然堤防帯)に位置する遺跡で、官衙状の建物群や、天武朝の文書木簡を始め、律

令期の多量の遺物が出土している。

今回の第一三次調査は、資材置場建設に伴い五五六㎡を調査したもので、先の官衙状遺構群から約四〇〇㎡南に位置する。調査地における検出遺構とその時期は、第一遺構面

が二世紀〜二〇世紀、第二遺構面が一〇世紀〜一二世紀、第三遺構面が八世紀後半〜一〇世紀初で、第四遺構面が七世紀後半〜八世紀初頭である。第二遺構面からは野洲郡の統一系里型地割にほぼ等しい、六条八里三〇坪と七条八里二五坪の里界線にあたる大畦を、第三遺構面においては第二遺構面の下層に両岸に大畦をもつ里界線の溝を検出した。第四遺構面は、約一mもの洪水層の下にあり、上層とは全く異なる地割を示しており、幅三m以上、深さ一・七m以上の南北溝(運河か)、その西岸の大畦と水田を検出した。木簡はこの第四遺構面から出土した。

8 木簡の积文・内容



木簡は、第四遺構面の大畦近くの水田面上にやや浮いた位置で、八片に折り捨てられた状態で発見された。現況は、上端が当初の面を残すものの、両側辺を削り落して幅を減じ二次的な加工を加えていると共に、下端を折損している。文字は、表裏に見られ、表と考

えられる面の上端には「受」の文字があり、物品等の収受に関わるものである可能性があるが、判然としない。今後の検討を待ちたい。

(辻 広志)

奈良・西宮・河内・内務省

- 1 西宮市 西宮市立第一中学校
- 2 西宮市 西宮市立第二中学校
- 3 西宮市 西宮市立第三中学校
- 4 西宮市 西宮市立第四中学校
- 5 西宮市 西宮市立第五中学校
- 6 西宮市 西宮市立第六中学校
- 7 西宮市 西宮市立第七中学校
- 8 西宮市 西宮市立第八中学校
- 9 西宮市 西宮市立第九中学校
- 10 西宮市 西宮市立第十中学校